

2017 環境プロジェクト

世界の幸せをカタチにする。

Creating Peace & Happiness for the World



Musashino University

武蔵野大学

目次

・環境プロジェクトについて	P2
・あらしる	P3
・アリアケ海岸	P4
・あるとぷらす	P5
・飯田農場	P6
・ECO REPORT WAY21	P7
・環境教育プロジェクト	P8
・環境サバイバルプロジェクト	P9
・環境みつばち	P10
・Gift Economy	P11
・古民家再生プロジェクト	P12
・里山保全プロジェクト	P13
・シカプロジェクト～しかをいただく～	P14
・ダーチャ	P15
・東北プロジェクト	P16
・NATURE☆iLLumination	P17
・半農半学	P18
・ビオトープ	P19
・マイボトルプロジェクト	P20
・じゅんぐり祭について	P21～

環境プロジェクトとは？

工学部環境システム学科の2・3年生対象の2年連続の授業であり、学生主体となってプロジェクト単位で活動する授業です。

学生自ら課題を発見し、計画を立て行動、評価、改善するPDCAサイクルが身に付きます。

企業や行政と協力して解決策を考えたり、地域を巻き込んだイベントをしたり、枠にとらわれない無限大の可能性を秘めた、独自の授業です。

◎プロジェクト連携先例 敬称略・順不同

- ・NPO法人もったいないジャパン
- ・KOKOPELLI+
- ・株式会社マイファーム 海老名望月農園
- ・株式会社東京港埠頭
- ・NPO法人サスティナビリティ創造研究学会
- ・大成建設株式会社
- ・一般社団法人江東みつばちプロジェクト
- ・NPO法人緑サポート八王子
- ・ロイヤル・ハンティング・クラブ
- ・茂原ダーチャ
- ・種子島地域おこし協力隊

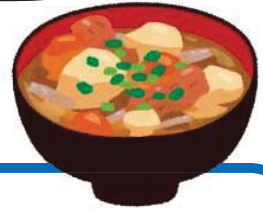
環ブ口唯一の外部プロジェクト

あらじる

～世界の“いらない”をカタチにする～

提携先:NPO法人もったいないジャパン

最終報告!



「あらじる」って?

アラ汁のように捨てられてしまう魚のアラでも調理すれば美味しい料理になる! だからこそ「アラ」のような、**まだ使えるor食べられるモノを集めて再利用しよう!**という意味が込められています。

提携先であるNPO法人もったいないジャパンさんと集まった**まだ使えるor食べられるモノ**を学内利用し、モノの廃棄を最小限にすることを目的に結成されたプロジェクトです。

オープンキャンパス学科企画

①参考書を有効活用!

学内では、大学受験用の参考書を回収。学外(来場者)から高校受験用の参考書を回収(その後もったいないジャパンに寄付)し、お礼に学内で集めた参考書をプレゼント。

②学科企画運営

来場者の方にもっと環プロを知ってもらうために…入試センターと連携し、企画運営をしました。

じゅんぐり祭

【飲食出店】非常食チャーハン

もったいないジャパンに寄付されたアルファ米を使い、新たな消費の仕方を提案。じゅんぐり祭で販売することで、アルファ米について、備蓄され役目を終えた非常食の実態を伝えることが出来ました。

消費だけでなく、活動の結果をアルファ米の販売元の尾西食品に報告書を提出予定。→約73食販売。



まとめ～1年間で得たこと～

- ・ストーリー性を持たせることで実態や存在を知ってもらう。ただ集めて届けるだけではなく、その過程に何があったかを伝え、その**ストーリーに価値をつけることで、さらに古物の価値を高めることができる。**
- ・**自分たちが影響を与えられる人がいてこそそのプロジェクト**
- ・古物を集めることの大変さ難しさを実感。どのような時に余るのが、**集めるタイミングを分析することの重要性**

アリアケ海岸

活動目的

1. 臨海副都心における水辺環境の改善
2. 昔は豊かであった東京湾の姿を取り戻し、生命感あふれる海に戻す。
3. 人と生物が関われる空間を創出する。

活動目標

・有明の子供たちが安全に海の生物と触れ合える場所(ビオトープ)の製作

人間の活動により発生する環境問題について考える。

- ・ 生物濃縮(マイクロプラスチック)
- ・ 有明周辺の生物について

- ・ 東雲運河の水質における、塩分濃度、水温、溶存酸素濃度を上層、下層、汐入の三カ所で実施する。

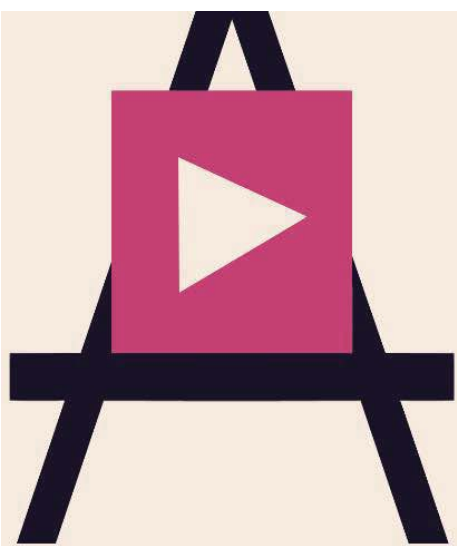
- ・ 生物調査を行うことで、ビオトープに適した生物を調査する。



水質調査



生物調査



アート・動画作成プロジェクト あるとぷらす ARTPRAS



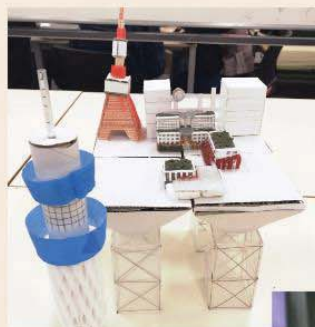
活動目的

個人の長所、好きなことを生かし、アート動画や環境プロジェクトの宣伝動画を投稿することで、多くの人の環境への見識を深める糸口になること。



活動目標

SNSやイベント等への参加で多くの人に見てもらう。
動画総合再生回数1000回。
毎月木曜日に動画を更新する。



主な活動

アート班

絵本の作成

じゅんぐり祭でのライブペイント

動画班

環境プロジェクトのPR動画（毎月第4木曜日更新）

クレイアニメの作成。

じゅんぐり祭でのクレイアニメ体験

共同活動

ジオラマ動画の作成

SNSを利用した広報活動





飯田農場

活動内容

- ◆じゅんぐい祭(学科の催し物)等のイベントで野菜を提供、販売
- ◆スパイラルガーデンを農業に応用した“スパイラルファーム”に挑戦!
- ◆学生自らの手で、野菜を栽培、収穫

活動目的

- ◆野菜の種、苗から収穫までを自分たちで考え実行するとともに野菜の知識、ノウハウを学ぶ。
- ◆野菜の栽培の難しさを理解し、食への感謝の気持ちを持つ大切さを伝える。
- ◆野菜の彩り、美しさを自然、緑から隔絶されつつある都会(お台場)に伝える。

活動状況

- ◆海老名農場:土を起こして畝を作り、種まきした野菜を栽培・収穫中
- ◆東京テレポート付近のガーデン:スパイラルファームに色とりどりの野菜を植えた。現在、成長を観察、収穫後ファーマーズマーケットに出店予定。

連携先 株式会社マイファーム 海老名望月農園
株式会社東京港埠頭

ECO REPORT WAY21

ERW21(ECO REPORT WAY21)とは
企業が発行するCSR報告書を評価分析し
企業訪問にて意見交換を行う。

企業様のメリット

企業には、ステークホルダーの一員である学生が報告書を読むようになる。また学生の評価・分析によって報告書をより魅力的なものにできる。

学生のメリット

報告書を評価することで、企業をより詳しく知ることができる。また自分の働きたい会社像など将来を具体的に考えることができるようになる。

学生と企業双方に
利益をもたらす活動です!!



【昨年度訪問企業】
株式会社電通様
サントリーホールディングス様
ヤマトホールディングス様
カルビー株式会社様
計4社

詳しくはこちら↓

[HP]

<http://erw21.jimdo.com/>

[Face book]



【活動実績】

平成20年度から9年間で延べ65報告書を評価・分析

環境教育プロジェクト

目的

子供たちが自然(環境)に触れる機会を作り、自然(環境)に対する興味を高めること。

目標

- ・ イベント等に参加していただいた子供たちを「笑顔」にすること。
- ・ 自然(環境)に触れる機会作りとして、なるべく身近な(自然の)ものを活用すること。

活動内容

人々が自然環境に触れる機会が減ってきている中で、環境教育プロジェクトによる様々なイベント等を通して自然環境に触れるきっかけを作っていく。

2017年度イベント

- ・ エコライフ・フェア
- ・ じゅんぐり祭
- ・ 保育園出張授業



環境サバイバルプロジェクト

目的：災害時に生き抜く力を身につける

目標：被災時を想定したサバイバル演習を行う

主な活動内容



富津岬サバイバル演習

真鶴岬サバイバル演習

釣り

東京湾食堂出店

茂原市サバイバル演習





環境みつばち

環境みつばちとは？

環境みつばちは武蔵野大学有明キャンパスの2号館屋上にてセイヨウミツバチの養蜂を行っています。養蜂活動を通して有明周辺の生態系保全に貢献します。そして、ミツバチの現状や重要性を知ってもらい、ミツバチへの理解を深め生態系に関心を持ってもらうことを目標に活動しています。

活動内容

- ・ 養蜂活動(内検)
- ・ イベントへの参加
- ・ 蜂蜜の販売
- ・ 蜜蝋体験の企画
- ・ 絵本作り
- ・ 保育園訪問(読み聞かせ)



KANKYO
MITUBACHI

連絡先

- ・ メールアドレス
Kannkyousp@gmail.com
- ・ Twitterアカウント
@bee_sp_m

Gift Economy

Object

ギフトエコノミーを通してさまざまなことに挑戦し、経験することで自らの世界観の拡大や自己の成長につなげる。

Goal

ギフトエコノミーを実践し世間に対してのギフトエコノミーの認知度を上げること。また、やさしさは循環するのかわかるということを実験的に行う。

The activity contents

ギフトエコノミーの考え方を軸に、外部に対して影響を与えられるような様々な活動を行い、それを通してメンバーそれぞれの自己啓発に繋げる。

古民家再生プロジェクト



檜原村の地域おこし協力隊の方などのサポートもあり、活動場所と決まった実際の古民家がコチラ👉
2階建てのとても広い家です。

私たちは今年の5月から大学生メンバー6名で古民家再生活動を行っています。何十年も使わなくなってしまった空き家を清掃し、再び住めるように命を吹き返しました。



舞台は、東京都唯一の村である檜原村。
古民家から一望できる山並みは、季節と共に表情を変えます。
山に覆われた檜原村では自然を体中で味わうことができます。
私たち人間にとって大切な自然を守っていきたいです。

里山保全プロジェクト

里山保全とは

人里近くにあり、昔から人々が生活のために利用してきた山のこと里山という

その里山を人々の手で管理することを言う

活動目的

人々が里山の良さ、有用性、問題点について知り、自発的に里山保全の活動に取り組むようになることを目指す

活動目標

- 里山の利用価値を高める活動を行う
- 活動の取り組みを学生に発信する
- 戸吹の森にて里山の魅力を伝える

2017年の主な活動内容

月に2回の定例活動。(NPOの方と連携)
月の第一日曜、第二日曜に活動しています

5月…田植え(3年のみ)

6月…2年生初参加、チェーンソー体験

7月…夏期ツアー準備

8月…田んぼの草刈り

9月…稲刈り

10月…脱穀

11月…じゅんぐり祭準備、秋期ツアー
東京都グリーンシップ・プログラム運営補助

12月…落葉掃き、木の間伐
じゅんぐり祭ワークショップ出展

1月…山道の整備



活動場所

八王子にある戸吹北森
(西八王子駅からNPOの方に送迎)



シカプロジェクト

～しかをいただく～

・概要

有害駆除されたシカなどの有効活用を模索する。

・目的

鳥獣被害について、都市部の人に理解してもらい、シカ増加問題の解決策を探る。

・目標

シカ問題の現場へ行き、そこでの学びを踏まえ情報発信を行う。
肉を流通させることによって、都市と地方の繋がりをつくる。

・活動内容

北海道地域を訪れ、シカによる被害実態を把握。

シカ肉などの学内での食事の機会を設ける。

外部の個人、団体等の協力を仰ぎ、調査やその他活動を行う。



ダーチャ

僕たちは、使えなくなってしまった廃材を再利用し、新しく建築をすることで廃材の利用方法を見出していく活動をしています。


また、茂原のダーチャプロジェクトと協力して、週末の癒しの場を提供できるよう活動もしています。

廃材を利用して、週末の癒し場を



空き家再生

人が住んでいない空き家の掃除を行い、自由に泊まれるよう再生させることを目指している。



モバイルハウス

軽トラの荷台に簡易な家を作り、持ち運びのできるよう建築する。

東北プロジェクト

～絶景編～



目的

宮城県石巻の良さを、写真や実体験をもとに皆に知ってもらい観光客を増やし
その土地の良さを知ってもらうことを目的とした地域活性



活動内容

- 東京では大森駅で毎週活動している石巻マルシェで交流。
- 東京ビッグサイトでは東北復興のイベントのボランティアとして参加。
- 石巻マルシェ、東京ビッグサイトで東北のボランティアで参加。
- 宮城県で一人約50キロメートルを歩き、宮城県での景色や人の良さを痛感した。
- 実際に歩いた道をもとに自分たちの宮城県でのおすすめマップを作成し、Facebookに掲載。
- 宮城県での方言のクセを伝えるため、漁師などに簡単なインタビューや交流を行った。
- インタビュー時に、わかめの天ぷらを教えてもらい去年のじゅんぐり祭の出し物にした。同時に東北についてのアンケートをとった。



NATURE☆ iLLumination



私たちは、**リラックスできる空間づくり**を**環境問題**と絡めて実現することを目的として活動しています。

* 目標

空間づくりの材料に、地球温暖化による生態系の変化や、大量消費社会におけるごみ問題などの**環境問題**を背景に持つものを使用することで、地球が抱える問題を伝えます。

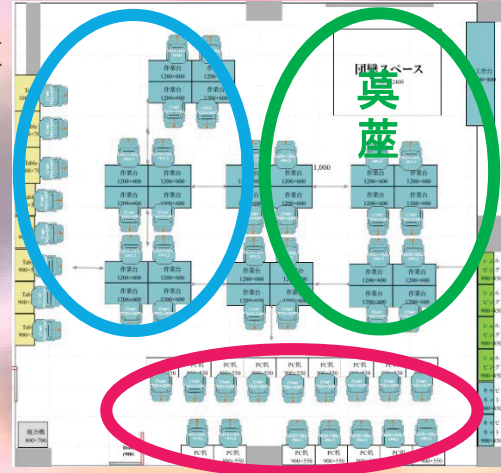
* 活動内容

○ プロジェクトルーム

- ・ 立体空間デザイン案作成
- ・ 管財課、情報システムセンターと話し合い
- ・ パソコンスペース実現の予算獲得
- ・ だんらんスペースの莫産、ソファを設置
- ・ 部屋の片づけ、家具の配置を変更
- ・ 小物づくり（ネームプレート、掲示板）
- ・ アロマを設置し、環境心理調査
- ・ 家具探し×NPO団体
- ・ 材料収集×外部団体
- ・ 屋内緑化×他プロジェクト

プロジェクトルーム
空間デザイン案

だんらんスペース



勉強スペース
個人・グループプ

○ じゅんぐり祭

- ・ 松ぼっくりのクリスマスオーナメントづくり
- ・ シーグラスを用いたワークショップを実施

パソコンスペース



半農半学

project

活動目的・目標

第三者に農業の楽しさを感じてもらうために、自分たちが農業についての知識を身につけ、周囲の人達への、影響を与えられる活動を行う。

主な活動内容

◆畑での活動

東京テレポート駅前
季節ごとに畑活動を行った。

◆夏のイベント タ

スポーツ&フラワーフェス
2016に参加した。

◆じゅんぐり祭2016

畑で取れた野菜を用いて、
小松菜スープを提供した。

◆室内栽培

じゅんぐり祭2017に向けて、
実験栽培を行った。

◆じゅんぐり祭2017

室内栽培の知識を用いて、
栽培キットを提供した。

◆環境教育

幼稚園を訪問し、
ワークショップを開催した。



ビオトーププロジェクト

ビオトーププロジェクトでは、都市に位置する有明キャンパスの
周辺の生き物にとって、貴重な生息空間を作ることを目指しています。



目的

主に都市部では様々な生物の生息
できる環境が制限されてしまっている
ため、
自分たちが環境を整えることで、
ヒトと自然とが共生できる環境をつく
り出すことを目的としています。

目標

有明キャンパス周辺の地域の生き物が
生活しやすくなるようなビオトープを整
備することです。

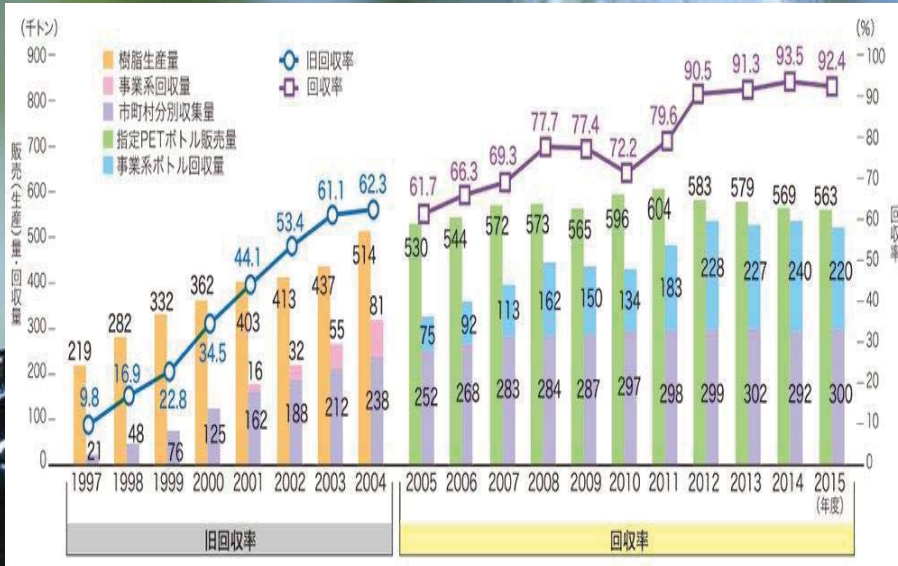
活動内容

ビオトープの維持・管理として草刈や清
掃をしたり、生物観察・水質調査、また
周辺の生物観察などを行っています。
キャンパスの一角に作られた規模の小
さなビオトープですが、その中でもでき
ることを考えながら活動を行っています。



マイボトルプロジェクト

～有明キャンパスに水飲み場を～



※年々ペットボトルの回収率は(紫)増えているがそれに伴いペットボトルの生産量(緑)も増えていることが分かる

プロジェクト紹介

大学で捨てられているペットボトルの廃棄量を減らすためにマイボトルの普及を推進するにあたって大学構内に水飲み場の設置活動をしています。

今年度のプロジェクト活動

- ・武蔵野大学のペットボトル排気量調査
- ・武蔵野環境フェスタでボランティア活動
- ・複数会社と水飲み場の設置の打ち合わせ

これからの活動

- ・他大学のリサーチ活動を行う
- ・学校内の水飲み場の設置
- ・大学との設置交渉



自然にあそぶ
自然にあじわう

第3回

じゅんぐり祭 2017

2017年12月9日(土)に学生による「じゅんぐり祭」が
武蔵野大学 有明キャンパスにて開催されました！
沢山の方に参加していただき、実りあるお祭りになりました！

”じゅんぐり祭”とは？

「巡る」「つなぐ」「まわす」「還す」の4つの循環を
“じゅんぐり”に回すという思いの込められたお祭りです！

「巡る」

時を巡る
各地を巡った気分になる

「つなぐ」

人と人をつなぐ
次の世代につなぐ

「まわす」

経済をまわす
資源をまわす(循環)
社会をまわす

「還す」

現在の社会を見つめ直し
本来あるべき社会に還す

☆イベント内容☆

◎ステージイベント

毎年ステキなゲストをお呼びしています！
なんと！今回は糞土氏さん！？

トークショー



環境大喜利



環境ビンゴ

◎プロジェクト出展ブース

体験コーナー

- ・ウニランプ制作
- ・ライフペイント/クレイアニメ体験
- ・ネイチャービンゴ
- ・蜜蝋シートでロウソク作り
- ・竹箸作り
- ・クリスマスツリーのオーナメント作り



飲食物コーナー

- ・アルファー米チャーハン
- ・東京の水道水からできた水信玄餅
- ・キャッサバジュース
- ・自家製ジャガイモのポタージュ
- ・東京湾で採ったイワシのつみれ汁
- ・石巻の特産ワカメの天ぷら



展示コーナー

- ・モバイルハウス
- ・パネル展示



◎環境ゼミナール

各ゼミ室の紹介・実験・体験ブース

◎外部団体出展ブース

- ・種子島地域おこし協力隊(安納芋など)
- ・天龍村地域おこし協力隊(野菜・ジャムなど)





発行

武蔵野大学工学部
環境システム学科

東京都江東区有明3-3-3

編集者

3年

山内華蓮

濱口沙耶

日置優哉

2年

飯田耕太郎

鶴岡典紘